



## 報道発表

2022年1月20日

### 株式会社マリへの新規投資について

京都大学イノベーションキャピタル株式会社（以下「京都 iCAP」）（本社：京都市左京区、代表取締役：楠美公）を無限責任組合員とするイノベーション京都 2021 投資事業有限責任組合（以下「KYOTO-iCAP2 号ファンド」）は、京都大学発ベンチャー企業の株式会社マリ（本社：京都市下京区、代表取締役：瀧宏文）に対する新規投資を実行いたしました。

#### ○今回の投資の概要

マリは、京都大学大学院工学研究科の阪本卓也准教授、京都大学大学院医学研究科呼吸管理睡眠制御学講座の陳和夫特定教授（現 日本大学医学部教授）、京都大学国際高等教育院の佐藤亨特定教授らとともに開発した技術を基に、睡眠時無呼吸症候群（SAS）に対する診断機器・治療機器の事業化を推進する医療機器ベンチャーです。

SAS は睡眠時に無呼吸・低呼吸状態を呈する睡眠障害です。日中の眠気や居眠り等による経済損失の原因となるほか、放置すると心不全・冠動脈疾患等の心血管系疾患につながる重篤な疾患であり、先進国を中心に世界で 4 億人超の患者がいるとの推計もあります。現在の主な治療法は持続陽圧呼吸療法（CPAP）ですが、自覚症状も少ないこと等から治療の継続率が 5 割程度に留まり、結果として SAS の治療・より重篤な疾患への進展抑制が十分でなく、更には医療経済上の損失となっているという課題がありました。

そのような中、マリは阪本准教授、陳特定教授、佐藤特定教授らとともに、非接触の生体情報モニタリング技術を開発し、本技術を用いた SAS 診断機器・継続率を高める SAS 治療機器を開発してきており、これら医療機器の開発推進のための資金が必要となっていました。

京都 iCAP はマリの画期的な非接触の医療機器により社会課題としての SAS の診断・治療が期待できる点、今後の更なる活発化が期待される京都大学発の医工連携の事例である点などを評価し、MedVenture Partners、KIRIN HEALTH INNOVATION FUND と協調して、総額 3 億円（内、京都 iCAP 1 億円）の投資を実行することとしました。

#### 株式会社マリ 概要

設立 2017年11月  
事業内容 睡眠時無呼吸症候群の診断・治療機器の開発  
本社所在地 京都市下京区  
代表取締役 瀧 宏文（たき ひろふみ）



## ○京都大学イノベーションキャピタル株式会社（京都 iCAP）について

京都 iCAP は、京都大学 100%出資子会社として、京都大学を中心とした国立大学から生まれた研究成果を活用する企業を対象に投資やその他の事業支援を行っております。当社は現在、総額 160 億円のイノベーション京都 2016 投資事業有限責任組合（以下「KYOTO-iCAP1 号ファンド」）（2016 年 1 月設立）と総額 180 億円の KYOTO-iCAP2 号ファンド（2021 年 1 月設立）を運営しています。KYOTO-iCAP 1 号ファンドの満期は最長 20 年、KYOTO-iCAP 2 号ファンドの満期は最長 17 年に設定しており、基礎研究に強みを持つ京都大学の研究成果の実用化を長期にわたって支援することが可能となっています。また、KYOTO-iCAP 2 号ファンドでは、一部資金を京都大学以外の国立大学発ベンチャーに投資することとしています。

### 【お問い合わせ先】

京都大学イノベーションキャピタル株式会社  
〒606-8317 京都市左京区吉田本町 36 番地 1  
事業企画部長（広報担当） 河野修己  
TEL : 075-753-7588 FAX : 075-753-7592  
E-mail : info@kyoto-unicap.co.jp